

全体目標

がんによる死亡者の減少
(75歳未満の年齢調整死亡率の20%減少)

すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上

がんになっても安心して暮らせる社会の構築

部会が担当する分野の課題と目標

【目標】がん患者さんやその家族ががん相談を希望すれば、いつでもどこでも質の高いがん情報の提供や相談が受けられ、よりよい治療法及び療養場所を選択することができる。

中期目標:2015年3月までに県民の50%が相談窓口を知っていて、その8割ががんの悩みを解決でき、相談窓口での対応に満足している。

指標: ①相談窓口認知度、②患者満足度

測定方法:患者満足度調査、拠点・支援病院がん相談件数の合算、分析

最終目標:2018年3月までに県民の80%が相談窓口を知っていてその8割ががんの悩みを解決でき、質の揃ったがん相談員が拠点病院、支援病院に配置されている。

指標: ①相談窓口認知度、②患者満足度

測定方法:患者満足度調査、拠点・支援病院がん相談件数の合算、分析

施策毎のアウトカム目標

【アウトカム1】

2015年3月までに県民全体の50%が相談できる場を知っていて、希望した時にいつでも利用できる。

【アウトカム2】

相談員間で質の揃った対応が可能となり、その地域に不足している資源や課題が明らかになる。

【アウトカム3】

インフォーマド・コンセンサスが行われる体制と、患者自らが治療内容や治療法を確認し選択できる環境が整備される。

【アウトカム4】

拠点病院・支援病院に相談員が適切に配置される。

施策毎のアウトプット目標

【アウト1】 2014年9月までにがんに関連する施設等を通じて2万部配布する。2015年3月までに評価を実施し、冊子の更新を検討する。

【アウト2】 2015年3月までに拠点病院共催で相談支援センターの広報活動を1回実施する。

【アウト3】 ピアサポート等と連携し、小児がんサバイバーのネットワークづくりを支援する。

【アウト4】 2014年9月までに予備調査(認知度)を終了する。2015年3月までに結果を分析し、満足度調査表を作成する。

【アウト5】 2015年3月までに支援病院で共通のがん相談集計シートを導入し、定期的に部会報告を行う。

【アウト6】 2015年3月までに各拠点病院主催で年3回以上実施し、延100人の実務者が参加する。

【アウト7】 2014年9月までに、作成した「小児がんマニュアル」の運用を開始し、2015年3月までに見直しを行う。

【アウト8】 毎年演題を出し、部会委員が発表する。また、学会にて最新の情報を収集する。

【アウト9】 セカンドオピニオンに関するアンケートを実施し、2015年3月までに結果を公開する。

【アウト10】 毎年セカンドオピニオンリストを更新し、協議会ホームページに掲載する。

【アウト11】 2014年5月までに沖縄県へ配置について要望書を提出し、支援病院へ実務者研修の参加を促す。

施策アクションプラン

【施策1】 患者必携「地域の療養情報」第4版を作成後の調査と今後の対策を行う。

【施策2】 相談支援センターに関する配布やラジカセ配布、加等、広報活動を行う。

【施策3】 働く世代や小児がん患者への支援を充実を図る。

【施策4】 患者家族満足度調査を実施し、分析結果の公開と、相談支援に活用する。

【施策5】 県内のがん相談の傾向を計測し、部会計画の改定等へ活用する。

【施策6】 がん相談員を対象とした研修会を開催する。

【施策7】 がん相談支援センターの相談マニュアルを作成する。

【施策8】 相談支援部会の活動実績を学会等で報告する。

【施策9】 セカンドオピニオンの普及と活用を推進する。

【施策10】 2014年9月までに県内のがん診療を行っている病院のセカンドオピニオンリストを作成する。

【施策11】 沖縄県へ相談員の適正配置を要望し、相談員の実務者研修参加を増加させる。

導き出された対策項目

【対策項目1】 相談窓口の機能、役割について情報を患者、市民に知らせる

【対策項目2】 相談支援の充実と質の向上

【対策項目3】 運営資源の充実化

＜相談支援部会：平成26年度経費内訳(案)＞

2014.1.8

1. 患者必携「がんサポートハンドブック第3版」等の現状を調査し、今後の対策に活用する。

①患者必携「地域の療養情報」第4版の評価アンケート調査を実施する

項目		数	単価	支出予定金額	備考
郵送費	医療関係施設100施設	100	180	18,000	返信用封筒切手代含む (がん診療を行っている病院など)
郵送費	医療関係以外の施設200施設	200	180	36,000	返信用封筒切手代含む (薬局、市町村役場、学校、図書館など)
計				54,000	

②在宅医療や介護を担う医療福祉従事者の教材や教育技法の開発に関する研究(渡邊版)に参加する。

項目	場所	人数/回数	単価	支出予定金額	備考
旅費	(東京)国立がん研究センター	2名/3回	88,400 (1泊2日)	530,400	航空券73,600(東京～那覇往復) 日当4,400/宿泊10,400
計				530,400	

③患者必携「地域の療養情報」第5版を作成する

2. 相談支援センターに関するチラシ配布、またはラジオ番組への参加等、広報活動を行う。

項目		数	単価	支出予定金額	備考
郵送費	68施設	68	90	6,120	切手代(がん診療を行っている医療機関)
講師謝金	相談支援部会委員	15,000	3	45,000	
交通費		2,000	4	8,000	事務方打ち合わせ分も含む
計				59,120	

3. ピアサポーター等と連携し、小児がんサバイバーのネットワークづくりを支援する。

項目	単価	人数	WG回数	金額	備考
食糧費(飲み物代)	150	10	3	4,500	
県内交通費	2,000	6	3	36,000	
計				40,500	

4. 各医療機関などにおいて、患者家族満足度調査等実施し、相談者等からのフィードバックの収集と分析結果を公開し、相談支援に活用する。

項目		数	単価	支出予定金額	備考
郵送費	医療関係施設100施設	100	180	18,000	返信用封筒切手代含む (がん診療を行っている病院、薬局など)
計				18,000	

5. がん診療連携支援病院へ、共通のがん相談記入シートの導入、がん相談件数統計様式が使用できるよう、支援・連携を図る。

項目			単価	支出予定金額	備考
旅費	(宮古)がん相談記入シート導入にあたってのがん相談実務者研修会	1回	49,800 (1泊2日)	49,800	航空券35,000(那覇～宮古 往復) 日当4,400/宿泊10,400
旅費	(八重山)がん相談記入シート導入にあたってのがん相談実務者研修会	1回	60,800 (1泊2日)	60,800	航空券46,000(那覇～石垣 往復) 日当4,400/宿泊10,400
講師謝金(学外者)	各研修先病院内(1時間)	2名	15,000	30,000	
計				140,600	

6. 各拠点病院主催のがん相談実務者研修会を開催し、医療従事者等の技術向上を図るとともに相談支援センターの質の向上を図る。

項目		回数/人数	単価	支出予定金額	備考
会場費	沖縄県医師会館	3回	5,000	15,000	
旅費	国立がんセンター(東京)より講師派遣	1回	101,000 (2泊3日)	101,000	航空券73,600(那覇～東京往復) 日当6,600/宿泊20,800
講師謝金(学外者)	1時間	3名	15,000	45,000	
交通費(県内)		6回	2,000	12,000	(事務方打ち合わせ2人×2回分含む)
計				173,000	

7. 沖縄県がん相談支援センターの相談マニュアルを作成し、マニュアルの研修会を行う。

項目		回数/人数	単価	支出予定金額	備考
会場費	沖縄県医師会館	1回	5,000	5,000	
講師謝金(学外者)	1時間	1名	15,000	15,000	
交通費(県内)		2名	2,000	4,000	(事務方打ち合わせ分含む)
郵送費	24施設	24	180	4,320	返信用封筒切手代含む (がん診療を行っている専門医療機関)
計				28,320	

8. ハンドブックの作成・普及活動や沖縄県のがん相談の傾向など部会活動について学会報告を行うとともに、学会にて最新の情報を収集する

項目	場所	人数	単価	支出予定金額	備考
旅費	(東京)	1名/2回	88,400 (1泊2日)	176,800	航空券73,600(東京～那覇往復) 日当4,400/宿泊10,400
計				176,800	

9. セカンドオピニオンの現状把握と普及の推進方策を検討するために、アンケート調査を行い、結果を協議会ホームページで公開する。

項目		数	単価	支出予定金額	備考
郵送費	33施設	33	180	5,940	返信用封筒切手代含む (がん診療を行っている医療機関)
計				5,940	

10. セカンドオピニオンの提示が可能な医師(セカンドオピニオンリスト)を病院別に作成し、協議会ホームページに掲載する。

(毎年11月に更新する)

項目		数	単価	支出予定金額	備考
郵送費	33施設	33	180	5,940	返信用封筒切手代含む (がん診療を行っている医療機関)
計				5,940	

11. 各支援病院の医療ソーシャルワーカーの常勤配置について沖縄県へ提言する。また、各支援病院の相談員が研修会(国立がん研究センター相談員基礎研修会1,2,3、及び指導者研修)へ参加するよう要請する。

項目		回数/人数	単価	支出予定金額	備考
旅費	国立がんセンター(東京)基礎研修1, 2	1	94,200 (2泊3日)	94,200	航空券66,800(宮古～那覇～東京往復) 日当6,600/宿泊20,800
旅費	国立がんセンター(東京)基礎研修3	1	94,200 (2泊3日)	94,200	航空券66,800(宮古～那覇～東京往復) 日当6,600/宿泊20,800
旅費	国立がんセンター(東京)基礎研修3	1	103,600 (2泊3日)	103,600	航空券76,200(石垣～那覇～東京往復) 日当6,600/宿泊20,800
計				292,000	

合計 1,524,620

*日 当・・・1日当たり2,200円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*宿泊料・・・1夜当たり10,400円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*謝金(学外者)・・・1時間 15,000円(国立大学法人琉球大学諸謝金支給基準単価表参考)

1. 琉球大学附属病院支出予定額(地域拠点病院) 合計 1,044,020

1. 患者必携「がんサポートハンドブック第3版」等の現状を調査し、今後の対策に活用する。

①患者必携「地域の療養情報」試作版～第4版の評価アンケート調査を実施する

項目		数	単価	支出予定金額	備考
郵送費	医療関係施設100施設	100	180	18,000	返信用封筒切手代含む (がん診療を行っている病院など)
郵送費	医療関係以外の施設200施設	200	180	36,000	返信用封筒切手代含む (薬局、市町村役場、学校、図書館など)
計				54,000	

②在宅医療や介護を担う医療福祉従事者の教材や教育技法の開発に関する研究(渡邊版)に参加する。

項目	場所	人数/回数	単価	支出予定金額	備考
旅費	(東京)国立がん研究センター	2名/3回	88,400 (1泊2日)	530,400	航空券73,600(東京～那覇往復) 日当4,400/宿泊10,400
計				530,400	

③患者必携「地域の療養情報」第5版を作成する

2. 相談支援センターに関するチラシ配布、またはラジオ番組への参加等、広報活動を行う。

項目		数	単価	支出予定金額	備考
郵送費	68施設	68	90	6,120	切手代(がん診療を行っている医療機関)
講師謝金	相談支援部会委員	15,000	3	45,000	
交通費		2,000	4	8,000	事務方打ち合わせ分も含む
計				59,120	

3. ピアサポーター等と連携し、小児がんサバイバーのネットワークづくりを支援する。

項目	単価	人数	WG回数	金額	備考
食糧費(飲み物代)	150	10	3	4,500	
県内交通費	2,000	6	3	36,000	
計				40,500	

4. 患者家族満足度調査等実施し、相談者等からのフィードバックの収集と分析結果を公開し、相談支援に活用する。

項目		数	単価	支出予定金額	備考
郵送費	医療関係施設100施設	100	180	18,000	返信用封筒切手代含む (がん診療を行っている病院、薬局など)
計				18,000	

6. 各拠点病院主催のがん相談実務者研修会を開催し、医療従事者等の技術向上を図るとともに相談支援センターの質の向上を図る。

項目		回数/人数	単価	支出予定金額	備考
会場費	沖縄県医師会館	1回	5,000	5,000	
旅費	国立がんセンター(東京)より講師派遣	1回	101,000 (2泊3日)	101,000	航空券73,600(那覇～東京往復) 日当6,600/宿泊20,800
講師謝金(学外者)	1時間	1名	15,000	15,000	
交通費(県内)		2名	2,000	4,000	(事務方打ち合わせ分含む)
計				125,000	

7. 沖縄県がん相談支援センターの相談マニュアルを作成し、マニュアルの研修会を行う。

項目		回数/人数	単価	支出予定金額	備考
会場費	沖縄県医師会館	1回	5,000	5,000	
講師謝金(学外者)	1時間	1名	15,000	15,000	
交通費(県内)		2名	2,000	4,000	(事務方打ち合わせ分含む)
郵送費	24施設	24	180	4,320	返信用封筒切手代含む (がん診療を行っている専門医療機関)
計				28,320	

8. ハンドブックの作成・普及活動や沖縄県のがん相談の傾向など部会活動について学会報告を行うとともに、学会にて最新の情報を収集する。

項目	場所	人数	単価	支出予定金額	備考
旅費	(東京)	1名/2回	88,400 (1泊2日)	176,800	航空券73,600(東京～那覇往復) 日当4,400/宿泊10,400
計				176,800	

9. セカンドオピニオンの現状把握と普及の推進方策を検討するために、アンケート調査を行い、結果を協議会ホームページで公開す

項目		数	単価	支出予定金額	備考
郵送費	33施設	33	180	5,940	返信用封筒切手代含む (がん診療を行っている医療機関)
計				5,940	

10. セカンドオピニオンの提示が可能な医師(セカンドオピニオンリスト)を病院別に作成し、協議会ホームページに掲載する。

(毎年11月に更新する)

項目		数	単価	支出予定金額	備考
郵送費	33施設	33	180	5,940	返信用封筒切手代含む (がん診療を行っている医療機関)
計				5,940	

2. 那覇市立病院支出予定額(地域拠点病院) 合計 88,800

5. がん診療連携支援病院へ、共通のがん相談記入シートの導入、がん相談件数統計様式が使用できる様、支援・連携を図る。

項目		回数/人数	単価	支出予定金額	備考
旅費	(宮古)がん相談記入シート導入にあたってのがん相談実務者研修会	1回	49,800 (1泊2日)	49,800	航空券35,000(那覇～宮古 往復) 日当4,400/宿泊10,400
講師謝金(学外者)	各研修先病院内(1時間)	1名	15,000	15,000	
計				64,800	

6. 各拠点病院主催のがん相談実務者研修会を開催し、医療従事者等の技術向上を図るとともに相談支援センターの質の向上を図る

項目		回数/人数	単価	支出予定金額	備考
会場費	沖縄県医師会館	1回	5,000	5,000	
講師謝金(学外者)	1時間	1名	15,000	15,000	
交通費(県内)		2名	2,000	4,000	(事務方打ち合わせ分含む)
計				24,000	

3. 県立中部病院支出予定額(地域拠点病院) 合計 99,800

5. がん診療連携支援病院へ、共通のがん相談記入シートの導入、がん相談件数統計様式が使用できる様、支援・連携を図る。

項目		回数/人数	単価	支出予定金額	備考
旅費	(八重山)がん相談記入シート導入にあたってのがん相談実務者研修会	1回	60,800 (1泊2日)	60,800	航空券46,000(那覇～石垣 往復) 日当4,400/宿泊10,400
講師謝金(学外者)	各研修先病院内(1時間)	1名	15,000	15,000	
計				75,800	

6. 各拠点病院主催のがん相談実務者研修会を開催し、医療従事者等の技術向上を図るとともに相談支援センターの質の向上を図る

項目		回数/人数	単価	支出予定金額	備考
会場費	沖縄県医師会館	1回	5,000	5,000	
講師謝金(学外者)	1時間	1名	15,000	15,000	
交通費(県内)		2名	2,000	4,000	(事務方打ち合わせ分含む)
計				24,000	

4. 北部地区医師会支出予定額(支援病院) 合計 0

5. 県立宮古病院支出予定額(支援病院) 合計 188,400

11. 各支援病院の医療ソーシャルワーカーの常勤配置について沖縄県へ提言する。また、各支援病院の相談員が研修会(国立がん研究センター相談員基礎研修会1,2,3)へ参加するよう要請する。

項目		回数/人数	単価	支出予定金額	備考
旅費	国立がんセンター(東京)基礎研修1, 2	1名	94,200 (2泊3日)	94,200	航空券66,800(宮古～那覇～東京往復) 日当6,600/宿泊20,800
旅費	国立がんセンター(東京)基礎研修3	1名	94,200 (2泊3日)	94,200	航空券66,800(宮古～那覇～東京往復) 日当6,600/宿泊20,800
計				188,400	

6. 県立八重山病院支出予定額(支援病院)**合計 103,600**

11. 各支援病院の医療ソーシャルワーカーの常勤配置について沖縄県へ提言する。また、各支援病院の相談員が研修会(国立がん研究センター相談員基礎研修会1,2,3)へ参加するよう要請する。

項目		回数/人数	単価	支出予定金額	備考
旅費	国立がんセンター(東京)基礎研修3	1名	103,600 (2泊3日)	103,600	航空券76,200(石垣~那覇~東京往復) 日当6,600/宿泊20,800
計				103,600	

総額 1,524,620

*日 当...1日当たり2,200円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*宿泊料...1夜当たり10,400円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*謝金(学外者)...1時間 15,000円(国立大学法人琉球大学諸謝金支給基準単価表参考)